



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場会社名 日本化学産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4094 URL <https://www.nihonkagakuangyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角谷博樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 吉田 豊 (TEL) 03-5246-3544
 経営企画室部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,463	16.6	863	△1.6	1,129	5.8	740	△6.6
2026年3月期第1四半期	6,400	5.5	878	△1.7	1,067	△0.3	792	1.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,052百万円(145.2%) 2026年3月期第1四半期 836百万円(△7.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	38.01	—
2026年3月期第1四半期	40.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	63,180	52,040	82.4
2026年3月期	61,693	50,824	82.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 52,040百万円 2026年3月期 50,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,640	2.2	1,310	△61.5	1,800	△52.9	1,250	△45.2	64.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社 (社名) 、除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	20,280,000株	2026年3月期	20,280,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	782,886株	2026年3月期	819,213株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	19,477,158株	2026年3月期1Q	19,460,591株
------------	-------------	------------	-------------

注) 期末自己株式数には、役員及び従業員向け株式交付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行 (信託口) が保有する当社株式 (2027年3月期第1四半期259,675株、2026年3月期296,072株) が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)における日本経済は、中東情勢の緊迫化、中国経済の低迷、インフレ傾向の継続等、依然として不透明な要素があり、個人消費に加え設備投資も力強さを欠いて推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは新たに2028年度を最終年度とする中期経営計画を策定し、2030年のありたい姿を視野に入れ、持続的な成長を目指しており、当第1四半期も計画に沿って施策を推進しております。特に、リチウムイオン電池リサイクルパイロットプラントは計画通りに4月から稼働を始め、新規事業の創出とサステナブルな社会への貢献に向けて取り組みを開始しました。また、既存分野では、製品の販売・生産数量の確保・拡大に加え、新製品・新規用途開発品の早期の実績化及び新規ユーザー開拓にも継続して取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、薬品事業及び建材事業の双方において売上が拡大し、前年同四半期比1,063百万円 16.6%増の7,463百万円となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したこと等により、前年同四半期比14百万円 1.6%減の863百万円となりました。経常利益は、受取配当金等の営業外収益が増加したことで、前年同四半期比61百万円 5.8%増の1,129百万円となりました。一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、早期退職関連費用148百万円を特別損失として計上したこと等により、前年同四半期比52百万円 6.6%減の740百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。

[薬品事業]

主力の薬品事業の売上面については、主要分野である電子工業向け製品が、AI関連需要の増加等により好調に推移し、国内販売数量が増加したことに加え、非鉄金属相場の高騰に伴い販売単価が上昇しました。リチウムイオン電池正極材の受託加工の数量が2026年8月の終了に向けて段階的に減少したことや、サイアム・エヌケーエス社(タイ)の売上が減少したことによる影響はあったものの、主力製品の伸びが牽引し、薬品事業全体として増収となりました。

利益面については、販売数量増に加え、新製品の利益貢献など、基盤事業の収益性は向上したものの、新たにリサイクルパイロットプラントが稼働したことに伴う研究開発費の増加、原材料費の上昇、受託加工減収等が下押し要因となり、全体として減益となりました。

この結果、売上高は前年同四半期比931百万円 17.1%増の6,393百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比81百万円 8.3%減の902百万円となりました。

[建材事業]

建材事業では、長期的な新設住宅着工戸数の減少という厳しい事業環境が継続し、労務費や物流費等のコスト上昇圧力も続きました。このような環境下にあっても、前年の建築基準法改正に伴う一時的な需要減からの反動増があったことに加え、新規顧客の開拓や新製品の拡販が進捗し、増収となりました。利益面については、コストの増加要因はあったものの、売上拡大によりコスト増を補い、前年同四半期に比べ大幅な増益となりました。

この結果、売上高は前年同四半期比132百万円 14.1%増の1,070百万円、セグメント利益は前年同四半期比68百万円 50.2%増の204百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における流動資産は、棚卸資産が増加したものの、現金及び預金が減少したこと等により、前連結会計年度末比888百万円減の34,062百万円となりました。一方、固定資産は前連結会計年度末比2,374百万円増の29,117百万円となりました。このうち、有形固定資産は既存設備の減価償却が進んだものの、リサイクルパイロットプラントの完成等により、前連結会計年度末比496百万円増の9,718百万円となりました。また、投資その他の資産は、保有株式の時価の上昇があったこと等により、前連結会計年度末比1,862百万円増の19,219百万円となりました。以上の結果、総資産は前連結会計年度末比1,486百万円増の63,180百万円となりました。

流動負債は、仕入債務が増加したものの、未払法人税等及び賞与引当金が減少したこと等により、前連結会計年度末比340百万円減の6,651百万円となりました。一方、固定負債は其他有価証券評価差額金の増加に伴う繰延税金負債の増加により、前連結会計年度末比610百万円増の4,487百万円となったことから、負債合計では前連結会計年度末比270百万円増の11,139百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比1,216百万円増の52,040百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同じく82.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、事業を取り巻く外部環境の変動を勘案し、2026年5月14日公表の業績予想を据え置いております。

今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,779,933	18,871,222
受取手形及び売掛金	6,724,145	6,339,946
電子記録債権	2,032,052	2,176,063
商品及び製品	1,976,376	2,212,756
仕掛品	1,510,818	1,933,475
原材料及び貯蔵品	1,730,417	2,097,409
その他	198,257	432,823
貸倒引当金	△1,270	△1,210
流動資産合計	34,950,731	34,062,487
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	1,775,119	3,410,124
その他（純額）	7,446,967	6,308,352
有形固定資産合計	9,222,087	9,718,477
無形固定資産	163,668	179,834
投資その他の資産		
投資有価証券	13,620,086	15,479,088
繰延税金資産	8,846	7,471
長期預金	2,100,000	2,100,000
その他	1,628,192	1,632,779
投資その他の資産合計	17,357,125	19,219,339
固定資産合計	26,742,881	29,117,651
資産合計	61,693,613	63,180,139
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,018,890	3,391,327
電子記録債務	380,280	382,312
未払法人税等	613,181	268,946
賞与引当金	460,000	205,000
役員賞与引当金	30,000	7,500
その他	2,489,775	2,396,742
流動負債合計	6,992,129	6,651,828
固定負債		
繰延税金負債	3,295,078	3,937,416
退職給付に係る負債	312,137	313,923
役員株式給付引当金	129,031	134,879
従業員株式給付引当金	52,505	13,275
資産除去債務	40,993	41,057
その他	46,902	46,902
固定負債合計	3,876,648	4,487,454
負債合計	10,868,777	11,139,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	856,908	856,908
利益剰余金	41,409,378	41,260,704
自己株式	△920,618	△867,799
株主資本合計	42,379,668	42,283,813
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	6,607,183	8,017,927
為替換算調整勘定	1,439,117	1,364,203
退職給付に係る調整累計額	398,865	374,912
その他の包括利益累計額合計	8,445,167	9,757,043
純資産合計	50,824,836	52,040,856
負債純資産合計	61,693,613	63,180,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,400,466	7,463,969
売上原価	4,675,249	5,489,394
売上総利益	1,725,217	1,974,575
販売費及び一般管理費	847,039	1,110,710
営業利益	878,177	863,864
営業外収益		
受取利息	23,947	37,327
受取配当金	111,690	165,881
不動産賃貸料	20,104	20,262
為替差益	918	29,922
その他	40,749	19,548
営業外収益合計	197,409	272,942
営業外費用		
賃貸収入原価	7,809	7,746
その他	658	1
営業外費用合計	8,468	7,747
経常利益	1,067,118	1,129,060
特別利益		
固定資産売却益	1	461
投資有価証券売却益	9,932	-
特別利益合計	9,933	461
特別損失		
固定資産除却損	1,966	2,698
早期退職関連費用	-	148,559
特別損失合計	1,966	151,257
税金等調整前四半期純利益	1,075,085	978,263
法人税等	282,576	237,879
四半期純利益	792,508	740,384
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	792,508	740,384

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	792,508	740,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	264,265	1,410,743
為替換算調整勘定	△205,522	△74,914
退職給付に係る調整額	△14,381	△23,953
その他の包括利益合計	44,361	1,311,875
四半期包括利益	836,870	2,052,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836,870	2,052,259
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、第1四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結会計期間において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「支払利息」は、重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結会計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」に表示していた「支払利息」600千円、「その他」58千円は、「その他」658千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,462,033	938,433	6,400,466	—	6,400,466
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,462,033	938,433	6,400,466	—	6,400,466
セグメント利益	983,548	135,933	1,119,482	△241,305	878,177

(注) 1. セグメント利益の調整額△241,305千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,393,328	1,070,641	7,463,969	—	7,463,969
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,393,328	1,070,641	7,463,969	—	7,463,969
セグメント利益	902,166	204,139	1,106,306	△242,441	863,864

(注) 1. セグメント利益の調整額△242,441千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	250,341千円	415,690千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	4,291,857	938,433	5,230,290
海外	1,170,175	—	1,170,175
顧客との契約から生じる収益	5,462,033	938,433	6,400,466
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,462,033	938,433	6,400,466

当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	5,219,783	1,070,641	6,290,424
海外	1,173,544	—	1,173,544
顧客との契約から生じる収益	6,393,328	1,070,641	7,463,969
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	6,393,328	1,070,641	7,463,969

(重要な後発事象)

該当事項はありません。